

「短歌・生田神社の 震災と復興」

加藤 隆久〈生田神社宮司〉



生田神社は御鎮座千八百年余の歴史を持つ。大同元年（八〇六）には「生田の神戸四十四戸」と古書に記され、この神戸が現在の地名の由来である。しかし、平成七年の阪神・淡路大震災で生田神社も大被害を受けた。それから間もなく十年、地域の精神的支柱として、いち早く神社復興に取り組んで来た。

「震災から復興へ」―その思いを和歌に詠んでいたの
で、当時を思い出しつつ三十一文字を記しておこう。

○

- ・ 朝まだき床持ち上ぐる上下動怒涛の如き南北の揺れ
- ・ マグニチュード七・二てふ大地震は神戸の街を崩れ散
らかせり
- ・ 御社殿も石の鳥居も灯籠もあはれ瞬時に崩し倒れぬ
- ・ うるはしき唐破風持ちし拝殿は地上に這ひて獣の如し
- ・ 皇神の鎮り給ふ本殿は涙の滲む目交にあり
- ・ 有難や鎮まり座せる本殿は森を背に輝きて建つ



地上に這いつくばる獣のようになった拝殿



▲酉年のしゅんこう献上ちぎり絵の絵馬



平成8年6月御社殿復興に御神体を元に

・あのビルもこの家もまたかの店も瓦礫と化して蹲まり
たる
・地震の災みまかりし人六千四百倒れし家屋十万户嗚呼
・陸続と各地より来し救援隊貴重なる水有難き飯
・義捐の水おし戴きて飲み干しぬ余震の続く暗き厨に
・かにかくに氏子や父の建てし宮復興に向け燃え立つ我
は

・木造りの倒れし御柱除かれて真鉄の柱たくましく建つ
・黒鉄の真鉄の柱並ぶさまさま目に見つつ胸せまり来る
・樂しみは地震の傷あとやはらぎてビルや住居の柱建つ
時

・桜咲く浄閣のなか皇神は仮社殿に御遷り給ふ
・神風の伊勢の鈴鹿の大島居いま甦り目交に建つ
・拝殿の紅梁垂木梁長押組立つるさまうれしとぞ見る
・千歳棟万歳棟と声高に響く槌音生田の森に
・朱に光る唐破風いまぞ聳え立ち羽を伸ばせし真鶴のご
と

・樂の音に警蹕の声入り交る浄閣のうちに神遷ります
・新宮に鎮りませし大前に大幣帛を捧げまつらむ
・金色に光る御扉前にして萬歳樂の裾ひるがへる
・新しき年を迎へる人達は希望を胸に開門を待つ
・地震の災除夜の太鼓が祓ひ遂り復興の年清しく迎へむ



【あずみ2 Death or Love】2005年3月12日全国東宝系ロードショー（2004年5月撮影）



【ドラマ30 メモリー・オブ・ラブ】2004年12月6日より月～金
ひる1:30～MBS・TBS系全国ネットにて放映（2004年10月撮影）

■震災10年記念特集

へどないすんねん神戸①

田中まこ 神戸フィルムオフィス代表

自分が感じる神戸の魅力 他の人に「伝える」

震災から10年。神戸市の人口も震災前を上回り、やはり神戸には人を惹きつける魅力があるのだと実感します。でも、神戸に住んでいる私たちがいくら神戸を好きでも、必ずしも「好きな街」「元気な街」ではありません。「街」というのは景色や建物よりも、まずは「人」。つまり、私たち1人1人が元気にならないと、街も元気にはなりません。好きという気持ちをも具体的な行動として表したときに出るエネルギー。それがたくさん集まると「元気」が生まれるのではないのでしょうか。ただ神戸が好きというのではなく、神戸の何が、どこが好きなのか。それをより素晴らしいものにするには何をすればいいのか。たとえば、神戸の緑が好きならどうやってその緑を増やしていけるのかを考えて、自分にできることから始める。そして自分が感じている魅力をほかの人たちに「伝える」ことができる、神戸はもっと人を惹きつける街になるのではないのでしょうか。





村上美穂「踊る林檎」



ジャズストリート1998
NHK神戸ふれあいパーク

トアロードクラフトアートフェア2004に参加

■震災10年記念特集

へどないすんねん神戸②

村上美穂 画家

これから10年の神戸を創る

トアロードの坂道を下り、回教寺院からハンター坂を抜けて三宮へ。私の散歩道です。四季折々の花が咲き枯葉の舞い散る冬の到来の一年、神戸の街は目まぐるしく開店閉店の繰り返しです。

山と海と空に囲まれた神戸は観光の街。魅力溢れる街づくりには、まず中心から固めて。神戸を三つの色に分けてみます。朝の神戸。昼の神戸。夜の神戸と。朝は北野異人館、メリケン港、美術館や六甲。昼はショッピングの街。元町、センター街、トアロード等。夜は異国情緒を大切にして世界の音楽生演奏。そして三つの場面をスライドさせ、神戸は一日で三つの色を楽しめることをアピールします。人の身体の五感にもっと響くように、神戸に着けば世界中の音楽が耳に、眼の前には異国情緒ムードが満ち溢れ、食欲をそそる中華アジア、フランス・イタリアの香り、土壌はできているのに、個々ではなかなか発展しません。神戸を愛する人達皆で、大切な場所、大切なお店そしてパフォーマンスを作り上げましょう。



いたわりと優しさの町 KOBEBE

かどもと　みのる〈神戸港を考える会会長・気まぐれカメモオナー〉



震災直後のメリケン波止場



栄町通



昨年8月台風16号の被害を受けたみなと公園(中央区)



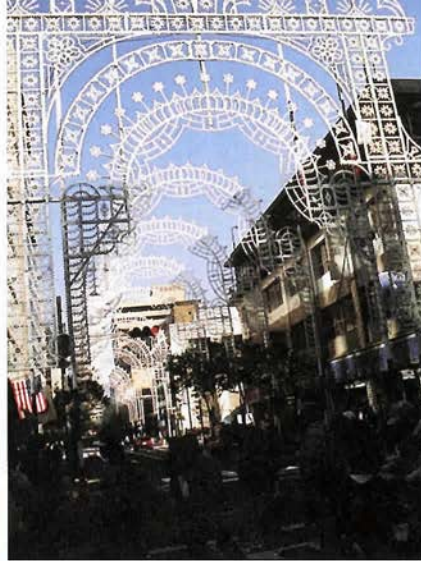
メリケン地蔵

「今まで知らなかった神戸の歴史を知ることができた」「今までこの企画を知らなかったのが残念。もっと大々的に宣伝して欲しい」神戸市北区・女。昨年、晩秋の十一月に私共市民グループ“神戸港を考える会”が催したポートウォッチングで参加者が記したアンケートのご意見の一部である。当時港が“大変わりにくい”との不評で、それを聞いて私共の会が十九年前の昭和六十一年秋から開始した港の観察会“ポートウォッチング”は、会を重ねること三十一回目で、参加者も延べ二、二四〇名に至った。今回の八十余名は記録的でもあった。その内の七割以上が神戸市以外の方の参加というのも珍しいのではなからうか。

巡るコースは旧居留地や海岸通港地区から最後は必ず遊覧船に乗船して港めぐりをしながら世界のワインとパンなどを楽しんで頂い



商船三井ビル



神戸ルミナリエ



港めぐり



ポートウォッチング

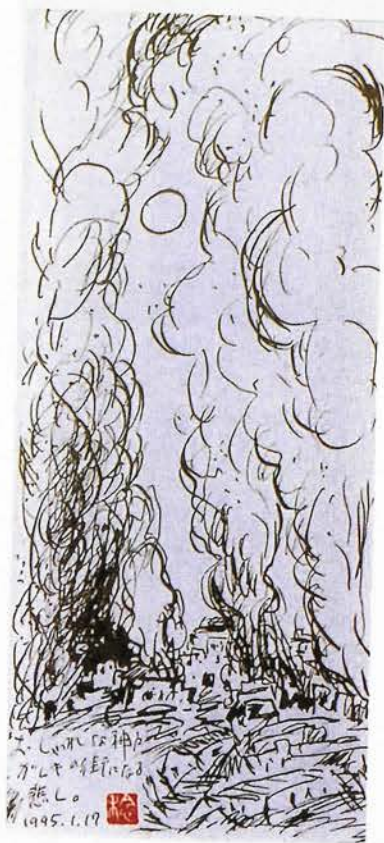
ていて、素晴らしいミナトの夜景も彩を添えている。神戸は都心部から港がとても近く、坂道がないのがウォーキングに受けているようである。だから二十歳代の若者から八十歳代のご老人迄もが好んで毎回参加されているのだろう。

神戸が世界に開港して今年で一三七年目である。英国人をはじめ欧米人によって建設された港と、この後背地である旧居留地は異国情緒ゆたかである。どことなくシヤレれていて、とてもエキゾチックな香りが漂う。町並みも洗練されていて、まるでニューヨークカパリの街中のような錯覚さえする。南京町の極彩色と猥雑さも面白く、好対照だろう。洋菓子やパン・コーヒーの香り、洋品雑貨にハイセンスな靴は、神戸の魅力をさらにアップさせる。我々が辿るのも、このような風景の中であるが、あの阪神大震災からは、町並みの様子も一変し、大正時代からの名建築群が半減した。しかしながら震災から10年、平成モダニズムと言おうか、現代感覚のビルが姿を見せ始めている。震災で培った、いたわりと優しさ、そしてみなと神戸ならではのものとなしでウォッチングは続きます。

2005年第32回ポートウォッチング／4月24日(日)午後1時より

お申込・☎078(333) 1892

●月刊神戸っ子震災10年記念特集
震災10年100字メッセージ①
 (順不同・敬称略)



1723 神戸震災各大家屋で 三宮のビル街は
 大きな被害を受けた

人々は呆然 但し その中で速早く

化けたビルから 電線衆をつなぎ

道路とレストランを閉める

ヤツク川上氏

わたしの唯一の震災記録画



月刊神戸っ子連載小説

佐々木 三和氏作

「イセント・イモラル・マミー」

わたしの唯一の震災記録画

土井 稔

今こそ真の神戸のIdentityを

額川欽和(柳建隆エース・特取締役)

近年の異常気象や世界各地の自然災害を考える時、阪神大震災に限らず私達を取り巻く環境は常に変化し、その現実を直視させられました。又、社会環境も一変する中、今こそ、真の神戸のIdentityが求められています！

文化への信頼感

岡田淳(漫画家)

とりあえず、という時期は過ぎました。誇りを持って残すものを創る時代が始まります。その種は10年前に私達みんなで播きました。隣人愛と感謝の気持ちと行動力、そしてそれを支え励ましてくれた文化への信頼感です。

トラウマを癒す

新井満(作家)

神戸市民1万人、1人千円ずつの寄付金で“月刊神戸っ子応援団”というものを立ち上げては如何ですか。美と面白さと感動を満載した同誌は、トラウマをいやししてくれる心のパンや水だと思えますから。

取り戻せ10年前の優しさ

有井基(ジャーナリスト)

みんなが被災者だった時、痛みを分け合えた。再生が進むにつれてエゴが戻った。弱者はいぜん取り残されている。背負った重みは一人一人ちがう。そのつづきに耳を傾けて動こう。10年前の優しさを取り戻すために。

中国と日本を結んだ音楽

張文乃(NPO法人国際音楽協会)

失うもの多きに比して導き学びあり。震災から10年。あの日から神戸の街に多くの応援が集まりました。中国音楽奏者達も、私達の心を慰め、音楽で勇気を運んでくれました。神戸復興へ導いた皆様の心に感謝致します。

神戸流の完全復帰を

村松友視(作家)

神戸は私にとって和魂洋才の砦といつてよい街でした。震災からも他の街と別格の、粹で、洒落た、恰好い完全復帰という神戸流を見せてくれるものと期待しています。いま少しです、頑張ってください。

震災後生れた美術館

東山すみ(故・東山魁夷夫人)

神戸！それは私にとって憧れの街。亡夫が美術学校に入る迄の多感な時代の想い出が宿るところである。

震災後、一早く立派な美術館の出現を見ても文化度の高さを示すバロメーターとして羨ましい限りなのだ。

謙虚に自然の力を考えよう

元永定正(画家・成安造形大学客員教授)

あれから10年過ぎた。被災者たちは力強く立ち上って今の生活を表現している。しかし災害は起る。年末のスマトラ沖大地震と大津波は500万人を巻き込んだ。地球は生きている。私たちは謙虚に生きて自然の力を考えよう。

羽ばたく次の10年に

藤井美智子(モードメイトミチコ主宰)

幾多の苦難を乗り越え、大きな荷物を1つずつ下ろしながら10年たちました。震災の年に生まれた子が、あと10年すると成人します。私たちが若者に託した夢も実を結んでいることでしょう。大きく羽ばたく次の10年に。

助け合いと努力の10年目

高崎研一郎（画家）

すさまじい震災の災害のあと神戸の人々はもう駄目かと思った。それから相互の助け合いと努力の結果、10年目を迎え立ち直った。今だ充分とはいえませんが。そんな時にも共に歩んだ月刊神戸っ子、復刊を願って止みません。

震災やテロにも負けず

松本幸三（声楽家）

雨ニモ負けず風ニモ負けず震災ヤテロニモ負けず丈夫な体ヲモチ、欲ハナク、淋シイ時ハリードラウタイ、悲シイ時ハ艶歌ヲ歌イ、振ラレタ時ハカンツォーネヲ歌イ、イツモ心ニ太陽ヲ唇ニ歌ヲ……ソナナ六十路ヲモエナガラ歩キタイ。

新しい神戸未来像が楽しみ

山田弘（CSの会副会長）

激しい大地の動きで廃墟と化した神戸。あれから10年、神戸っ子のエネルギーな復興意欲、感性に富んだ美意識が美しい街へと花開きつつあります。次のステッブは若者の力、硬軟が調和した新しい神戸の未来像が楽しみです。

誰も殺しにはこないぞ！

上根保（株カミネ会長）

戦場体験は地震を超えた。誰も殺しにはこないぞ！社員は奮い立った。映像を見たブランドは決済無用と緊急電をくれた。2日後スイスの救急隊が到着。以来数十回の出張で自己紹介は「KOBEBから来た」に感謝の言葉を添える。

さらに個性的な神戸に

曹英生（南老祥記代表取締役）

こんなオシャレな町にまさかの“大地震”。“10年過ぎて、よくここまで町が回復したなという気持ちでいっぱいです。

これからの10年、個性的な町「神戸」がさらに輝きを増す10年……

愛と生きる喜びのために

堀郁子（シャンソン歌手）

“何が欲しい！”“東京のシャンソンの仲間からだ。私は咄嗟に、“歌いたい！”と叫んだ。「全ては愛の為に、今私は生きる喜びを込めて」、1995年7月17日に開催、それから10年の月日が流れた。私は現在元気に神戸で歌っている。

次代を担う幼児の命大切に

並川明子（和弘学園明進會理事長）

神戸市内の私立幼稚園の被害状況を見るため、倒れかかった電柱、垂れ下がった電線の下をくぐりながら裏通りを走り、県庁、市役所、東京までも必死に陳情。あれから10年、次代を担う幼児の命を大切に心を引き締め頑張ろう。

今だ描けない廃墟の神戸

村上美穂（洋画家）

震災後、三宮で私を釘付けした物は廃墟と化したデパートだった。その頂辺には回転木馬が逆さに挟まり、破滅の中の希望、灰色の中の際立つ彩の感。不謹慎ながらもあまりの美に見とれてしまった。しかし今だ描けない。

遅しく甦り再生する神戸

加藤隆久（生田神社宮司）

昭和13年の阪神大水害、昭和20年の神戸大空襲、平成7年の阪神大震災、これらの災害を蒙りながらいつも遅しく甦り再生したのが神戸である。月刊神戸っ子も苦難な試練に遭遇しても遅しくしたたかに立ち上り甦れ!!神戸っ子。

神戸は「愛」の街

新谷琇紀（彫刻家）

KOBE'E CITTÀ d'AMORE

神戸は「愛」の街 私は愛のある街が好きだ！

無味乾燥な街よ サヨウナラ。

全ての道は 愛のある街に続く。

新たな人生に夢を抱いて

榎本靖子（匠家「おかげ庵」）

震災直後、友人、知人と励げま
し合った。「失くしたものは大き
いが魂まで腐らさん」と。」

新たな人生を夢抱きました。あ
れから10年、第二のふる里、棚田
が美しい農村に拠点を創り、そこ
には希望があり、未来が輝いている。

物より心の暖かさ

寺尾啓子（マミフラワーデザイン神戸）

タンスとベッドのすきまで気が
つきました。めざましいライフラ
インや鉄道の復興の中、道に春の
花の咲く姿に感動！ 多くのの方の
励ましや応援が心から嬉しく感謝
しています。物の無い事よりは心
の暖かさが大切と思った。



5時46分「MARINA」新谷琇紀作・撮影／菊池満（写真家）

神戸の笑顔がみたい。

陳舜臣（作家）

神戸は泣いていたが、そろそろ涙を拭くころである。あれからもう十年もたった、涙のあとも乾いたではないか。神戸の笑顔がみたい。神戸は笑顔が一ばん似合う。泣いている神戸なんかだれが見たいものか！フレー神戸っ子。

復興超えてさらなる発展を

吉田建美（医吉田矯正歯科クリニック）

震災当日午前中に直接見た三宮、神戸市内の悲惨な光景は、10年という月日が流れても昨日の出来事のように思い浮かびます。復興を超えて、神戸のさらなる発展を神戸っ子の一人として心から願っております。

前とはちよっと違う見事な復興

河内恵子（月刊神戸っ子OB）

震災で、無茶苦茶に壊された神戸の街を見て涙が止まらなかった。馴染みの店や好きだった建物は失くなった。

そして10年。前とはちよっと違うけど見事に復興。街の姿、人の心を伝え続けた月刊神戸っ子に元気をもらった。

ずーとずーと神戸にパワーを

若柳吉由二（日本舞踊家）

あの震災より早10年ただ無我夢中に立ち上り歩み続けて、振り返る余裕もなく又今日の時を迎えました。月刊神戸っ子により元気と明るさを与えられ我々も頑張らないと云う気持を授かりました。ずーとずーと神戸にパワーを。

「バラに想う」喜多洋子



心の中に花咲いて

若柳吉金吾（日本舞踊家）

天然の無情。でも生き続ける私達。神戸っ子に育てられた文化を楽しみながら。

がんばって神戸っ子。私達の心の中に生きています、花咲いています。

心癒したバラの花束

東郷武久（ローズブラボ）

震災後の心を癒したものは「バラの花」。もその一つ。壊滅的な神戸のまちで、亡くなられた方々には白いバラ、病院通いの方にはピンクのバラ、家の復興やお店の開店には紅いバラの花束をお届けして元気になって頂きました。

何が善で何が悪か

田川政子（神戸っ子倶楽部）

10年前の1月17日の朝友人が子供をかばって文化住宅の二階で亡くなった。その時、新聞記者にお父さん助けてと娘が叫んだが記者は取材のために立ち去った。10年目の1月17日東遊園地の震災モニュメントで家族と出合い祈った。何が善で何が悪か。

人の心癒す自然と文化と住民の街

砂野耕一（兵庫県日韓親善協会会長）

震災後、被災した方々が助け合っておられる姿に、わが街の活力の源泉を見た。又目の前の静かな大阪湾と背後の六甲山の緑に心の拠り所を取り戻した。神戸は人の心を癒す自然と文化と住民の街として、生き続けて行こう。

激震に耐えた夙川公園の松並木
菅田英一（洋画家）

家は全壊しましたが、庭木は、
びくともしませんでした。夙川公
園の松並木は、あの激震に耐えて
泰然自若としていました。街路樹
に支えられて倒壊寸前で助かった
家もあります。

樹木の耐震力と、地表の耐震性
について考えさせられます。

美しい地球破壊進行
中西勝（洋画家）

地震で気が付けば、大量殺人の
戦争が続く。人間内臓の部品スゲ
換で人間再生、クロイン人間製造
寸前、人間尊厳と叫ぶ人間の美し
い地球破壊進行。

おぞましくも大変な時代だ。兎
に角ハツラツとした神戸っ子の再
生を願う。

全知全能を絞り挑戦します
河崎保（株神戸シャツ社長）

神戸本店も完全に倒壊し大打撃。

この10年間は長くもあつたし早
くもあつた苦難の道で、ひたすら
堪え忍び、無我夢中で神戸シャツ
の存続に取り組みました。

これからも全知全能を絞り、力
の限り未来の栄光に向って挑戦し
ます。



USAの
華突る 絵／中西勝（画家・神戸二紀会）



2005神戸南京町春節祭 復興から飛躍へ…「西安門」が完成

2005年2月9日（水）～2月20日（日）

※本祭は2月11日（祝・金）～13日（日）

場所／南京町および周辺地域

南京町の西側に、「西安門」が誕生。
「復興から飛躍へ」そんな願いを
受けて完成した。震災10年目の神
戸南京町春節祭は、ロングラン開
催となる。本祭を中心に、約2週間
にわたって、熱のこもった演技が
くり広げられる。





西安門竣工記念「光復祭」
三大中華街フォーラム
 震災10年目を迎えるにあたって、復興から飛躍する姿の象徴として西安門が完成した。「西安門」は井戸兵庫県知事が、「光復」は矢田神戸市長が揮毫。1月15日、竣工記念として、神戸、横浜、長崎の中華街のリーダーが集い、それぞれの町づくりの課題について語り合う「三大中華街フォーラム」が、よみうり神戸ホールで開催された。最初に

黄棟和さん(昌園)が、「中国の食文化」について基調講演を行った。
 横浜の林兼正さんは「デパートや大企業に真似のできない付加価値の高い料理を提供していきたい」と。
 長崎の林照雄さんは「長崎の中華街は、ちゃんぽん、皿うどん食材につづく、新しい商品を発案することが課題」。
 神戸から参加した曹英生さんは、「西安門が誕生した南京町の西側に、街を拡張していくという案があります。北側にも門をつくり、最終的には、もう一丁分、街を拡大し、関西の元気を南京町から発信していきたい」。
 神戸、横浜、長崎、よきライバルとして鍋を削ることにしよう。

9日(水)		10日(木)		11日(金)		12日(土)		13日(日)		14日(月)	
南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外
10:30 神事											
11:00 オープニング		華僑幼稚園児				総合舞踊隊(獅子舞)		中国同文(獅子舞)			
11:30 獅子舞				舞龍隊(龍舞)		舞龍隊(龍舞)		舞龍隊(龍舞)			
12:00 中国史人遊行	中国史人遊行			舞龍隊(獅子舞)	舞龍隊(大丸)	武芸団(武術演武)	舞龍隊(南京町・東)	舞龍隊(獅子舞)			
12:30						武芸団(武術演武)		舞龍隊(大丸)			
13:00 流 丹龍(鼓)		海牧 薫(一般・歌)		オーストラリア軍楽(音楽)		場井彦彦(鼓)		武芸団(武術演武)		おいらず(一般・アコーディオン)	
13:30				武芸団(武術演武)		堂浜		堂浜			
14:00		東方文化芸術団(鼓)		舞龍隊(龍舞)	舞龍隊(元町6-4)	総合太極拳(太極拳)	(元町1~6)	総合太極拳(太極拳)	大丸定額演説		
14:30				越紅(鼓・太極拳)		総合太極拳(太極拳)		華芸(貴族)	総合太極拳(太極拳)		
15:00		陸 意(一般・歌)		総合舞踊隊(獅子舞)	流 丹龍(鼓・車椅子)	流 丹龍(鼓・車椅子)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
15:30				NPO太極拳(太極拳)		堂浜		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)	龍行進(南京町内)	
16:00						武芸団(大丸)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
16:30 流 丹龍(鼓・車椅子)				兵庫商業高校(獅子舞)		堂浜		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
17:00				舞龍隊(龍舞)	舞龍隊(元町3-1)	舞龍隊(龍舞)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
17:30 獅子舞(車椅子)						舞龍隊(龍舞)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
18:00				総合舞踊隊(獅子舞)		総合舞踊隊(獅子舞)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
18:30						総合舞踊隊(獅子舞)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
19:00				舞龍隊(龍舞終了)		総合舞踊隊(獅子舞)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		
20:00						総合舞踊隊(獅子舞)		舞龍隊(南京町・西)	舞龍隊(南京町・西)		

15日(火)		16日(水)		17日(木)		18日(金)		19日(金)		20日(土)	
南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外	南京町広場	広場以外
10:30											
11:00											
11:30						中国史人遊行	中国史人遊行	舞龍隊/リード(予定)		舞龍隊/リード(予定)	
12:00								舞龍隊(南京町・東)		舞龍隊(南京町・西)	
12:30								舞龍隊(大丸)		舞龍隊(大丸)	
13:00											
13:30		NPO(太極拳)		流 丹龍(鼓)							
14:00											
14:30											
15:00											
15:30		龍行進(南京町内)		龍行進(南京町内)		陸 意(一般・歌)	龍行進(南京町内)				
16:00											
16:30											
17:00											
17:30											
18:00											
18:30											
19:00											
20:00											

■震災10年特集

祈り 復元の献堂式

美しくよみがえった神戸栄光教会
安田 丑作
(神戸大学工学部教授)



信者の方々が飲み会の献堂式に集って



煉瓦積が美しい新神戸栄光教会

神戸栄光教会がこのように見事に再建され、献堂式が開かれたことに心からお祝いを申し上げます。あの震災直後の悲惨な姿を知る私たち神戸市民にとってもその後の復旧、復興の思い出とともにさまざまな感慨が去来いたします。

旧会堂の建築は、今から80年前の大正13年に竣工したのですが、その設計者について、建築学会を含めた建築界では、現在の神戸郵便ビル（当時の日本郵船神戸支店、大正7年）の設計者でもある曾禰・中條建築事務所とされてきました。

しかし、これが誤りであることが、教会の記録、それから当時設計図でも確認されることが教会員の方から指摘され、設計者は、難波建築事務所の難波停吉氏であることがはつきりしました。この難波停吉という人物とその後の建築活動については、よく知られていなかったのですが、これもまた教会員の窪田祐さんの縁続きの伊藤喜彦さんという東大で建築歴史を専攻する若い学者によって調査されある程度明らかにされました。

ところで、この教会堂の都市景観や建築的な意味での特色を一言で表現するなら、「記憶の継承」――街の記憶、場所の記憶を蘇がえらせたことでも言えるでしょうか。



献堂式に集う人々



パイプオルガンの響きも流れて

会堂が建つこの場所は、歴史的にも近代神戸を代表する場所であり、昔から神戸市民にとっては、南側の県公館とともに神戸の街の山手のシンボルともいえるゾーンを形成していて、とりわけ西から夕日を浴びて聳える塔と正面の姿、赤いレンガの壁は印象深いものでした。

このように旧会堂の姿、原型デザインを復元することについては、安易な模倣にならないかという懸念も指摘され、新しい時代にふさわしい建築的表現が追及されるべきではないか「新しい酒は新しい皮袋に」との主張もあります。しかし、あの大震災を経験した私たちにとって、その後の都市景観の変貌はあまりに大きすぎて戸惑いさえ感じます。そして、そのこと

は歳月を経ても、決して癒されることがないように思われます。

第二次世界大戦後のヨーロッパの都市では特に、ポーランドのワルシャワやドイツのフランクフルトなどが有名ですが、戦禍で壊滅した中心市街地の街並みを戦前の姿に復元させるために大変な熱意と努力を傾けてきたことを、大震災を経験した今ようやく理解できるようにも思われます。震災によって一度は失われましたが、その再建プロセスのなかでも皆の心のなかにあつてその輝きを決して失うことのなかった記憶が継承されたことは、神戸の街とその景観にとつて、極めて大きな意味をもつものではないでしょうか。それと同時に、この教会堂の建築は、「建築の復元と再生」が、すぐれた建築的創造でもあることを見事に示したといえると思います。

いずれにせよ、新しく命を得たこの教会堂が、これからもまた広く神戸市民に愛着と誇りのもてる「風景」となっていくことを願ってやみません。

(2004年11月23日、
神戸栄光教会献堂式より)

阪神・淡路大震災10周年記念事業「オペラ Jr.バタフライ」

あの阪神・淡路大震災から10年。

混乱の時代にこの愛を問いかける。

ブッチーニのオペラ「蝶々夫人」の誕生から100年目の、記念すべき2004年に上演された「Jr.バタフライ」。3月31日（木）、4月2日（土）の両日、阪神・淡路大震災10周年記念事業として神戸版の改訂を加え、神戸で公演されることに。音楽を担当した三枝成彰さんと、ナオミを演じる佐藤しのぶさんにその意気込みを伺った。



蝶々夫人の事件は明治28年に起こりましたから、Jr.バタフライは、どう考えても戦間機に乗れる年齢ではないことが分かりました。

「Jr.バタフライ」の冒頭の曲もブッチーニの「蝶々夫人」の最後の場面に流れていた音楽からはじまります。こちらが作曲した音楽が、世界的に有名になるには、どれぐらい時間がかかるのか分かりませんが（笑）。

それと、このオペラを通して戦争の意味をもう一度考えてみたかった。戦争はなぜはじまるのかということです。戦争がはじまるとどちらにとっても聖戦になります。どちらも正しい意見があつてはじまりますが、多くの人が亡くなります。戦争と災害は異なりますが、理不尽にものが失われるという意味では同じです。

希望的な観測でいいですと、EUのように長い戦争を経て、ひ



台本を担当した島田雅彦さん

とつこの国にまよるといふことが望ましいのですが。理不尽に感じる人が、1人でも少なくなるる社会を迎えられるようになることを祈りたいのですが。

「Jr.バタフライ」は、戦争の中で愛を描いています。どんな状況でも愛は存在します。社会が救われることはないでしょうが、生きる上で大切な希望となることは間違いないと思います。

日本に西洋音楽が入ってきて、百数十年しかたつていませんから、日本のオペラが世界中に認められることは難しいと思います。ヨーロッパに行きましたら、新聞記者に「僕はオペラを書いている」と言うと、「えー、嘘だろう。日本にオーケストラがあるのか」と大変驚きます。小沢征爾や五嶋みどりがいることを知っていながらですよ。日本にオペラがあるということを知ってもらうには、相当時間がかかるでしょう。「Jr.バタフライ」も100年後には、名作として前編と後編の2部構成になっていれば嬉しいですね。そして、この物語の舞台で、あの震災を経験した「神戸」のことを、世界中の人がずっと忘れないでいてくれますし。

戦争の中の愛を描く

三枝成彰さん（作曲）

島田雅彦さんが、「忠臣蔵」を書き終えたとき、次に、私は特攻隊を主人公にしたオペラをしたかった。島田さんと打ち合わせをするのになつて、酒を飲んでいいる内に、「Jr.バタフライ」という言葉が出てきました。その時は蝶々夫人の息子・Jr.バタフライが戦闘機に乗って軍艦に突っ込むという物語として話をしていたのですが、



「蝶々夫人」初演から100年目に上演された「Jr. バタフライ」初演の模様

様です。最初、二人は神戸の丘の上に新居を構えるシーンから始まりますから。三枝さんのメロデイは、本当に美しいのですよ。あふれるような愛、ある種の悲哀のようなものが宿り、演奏するのがとても難しい。出演者もたった6人で、これだけの長いオペラを演じますので、1人の持ち場が多く、歌い甲斐があるオペラといえます。オペラは、心の中の

どんなときにも希望を失わない
佐藤しのぶさん（ナオミ役）
もっとも世界で人気の高いオペ
ラが、ブッチー二作の「蝶々夫人
です。それに続く作品として着想



したのが、「Jr. バタフライ」です。第2次世界大戦を背景に、蝶々夫人の残した一人息子ピンカートン・ジュニアと日本人女性ナオミを描いたドラマです。

は、ヘブライ語で「希望」という
私が演じるナオミという名前に
意味があります。物語の最後に、
彼女は被爆して亡くなるのですが、
どんな状況になつても自分の人生、

に満足して逝く。「蝶々夫人」に通じる、日本女性の美德、愛に殉ずる強い女性を描いています。震災復興10年目に神戸で公演できるのも何かの縁ですね。最初、二人

叫びのようなものが音楽になるわけですから。そういう意味では、大変やり甲斐があります。同じ第九を演奏しても指揮者によって違うように、演出家によっても違います。島田さんは、すべてのことを包括できる深い寛容力と、卓抜なアイデアをおもちです。非常に哲学的で、視覚的にも観客に強く訴えかけます。

芸術のもつ力というのは、人間にとつて大きいものだと私は考えています。人間は食べ物だけで生きていくわけではありません。やはり、目に見えない精神というものを育てていかなければなりません。そういう意味で、音楽というのは、大変強い力をもっています。いろんな時に、人を励ましたり、心を豊かにするものだと思います。どうすることもできない困難から立ち上がり、どんなときにも希望を失わない姿をご覧頂きたいと思っています。(旧居留地十五番館にて)

阪神・淡路大震災10周年記念事業
オペラ「Jr.バタフライ」

とき／2005年3月31日(木)18時30分開演
4月2日(土)14時開演

ところ／神戸国際会館こくさいホール

作曲／三枝成彰 台本／島田雅彦

演出/Daniela Andrade 編譯/太田惠子

演出/Danielle Abbado、指揮/大友直人

入場料／SS席20,000円／S席15,000円／A席12,000円／
B席8,000円／C席5,000円(完売)／D席1,000円(完売)

チケット取扱い／

神戸国際会館プレイガイド ☎078-230-3300

電子チケットぴあ ☎0570-02-9999 / ☎0570-02-9966 (Pコード187-867)

ローソンチケット ☎0570-000-403 / ☎0570-063

e+ (イープラス) / <http://eee.epuls.co.jp>

■お問い合わせ／オペラ「Jr.バタフライ」実行委員会事務局

☎06-6262-8332

被災者の心を癒し励ましたひょうごゆかりの洋画家100人展

■震災の犠牲となった画家



大島幸子 建物 1994
油彩・カンヴァス 112.5×161.0



津高和一 いのち 1960
油彩・カンヴァス 112.6×162.0



上田清一 花咲く六甲山 1966
油彩・カンヴァス 80.8×116.8



貝原六一 牛に乗ったドンキーホーテ
油彩・カンヴァス 129.0×163.0



吉原治良 白と黒の円 1968
アクリル・カンヴァス 194.0×259.4



小磯良平 婦人 1978
油彩・カンヴァス 73.0×50.2

■戦後兵庫画壇を
支えた画家（物故者）



西村功 メトロホームの人たち 1985
油彩・カンヴァス 110.0×160.3



小松益喜 オリバー・エバンス商会
油彩・カンヴァス 90.0×117.0



田村孝之介 花と裸女 1985
油彩・カンヴァス 116.8×91.2



元永定正 赤いQ001 1974
アクリル・カンヴァス 162.0×129.8



石阪春生 メトロノーム（女のいる風景）1976
油彩・カンヴァス 162.5×162.5



中西勝 黒い聖母子 1972
油彩・カンヴァス 162.1×130.3

■現在活躍中の画家



鶴居玲 夢候よ 1973
油彩・カンヴァス 162.3×96.9



白髪一雄 地進星出洞蛟 1960
油彩・カンヴァス 161.5×130.3



松本宏 人形の悲しみ 1973
油彩・カンヴァス 134.0×161.0



川西祐三郎 神戸ベイサイド 1995
木版・紙 73.0×85.0

わが愛しの 郷土の画家たち

原田の森ギャラリーで、1月18日〜30日に開かれた「ひょうごゆかりの洋画家100人展」は、震災後の被災者の心を癒し励ましたという副題がついている。

震災の犠牲になられた津高和一人さん、上田清一さん、大島幸子さんたちの絵は悲しみを誘う。戦後の兵庫画壇を支えた物故者、現在活躍中の画家たち100人の絵が並ぶと、その美しさ、力強さ、そして楽しさに息をのむ。

〈絵画は観られるためにそこにある〉と、この展覧会の企画者・伊藤誠さん（美術評論家）の熱い思いもあふれて、風土の中から生まれた、画家たちの吐息が画面から聞こえてくる。

兵庫県の層の厚い洋画家たちの力量をあらためて新鮮に観ることができた。

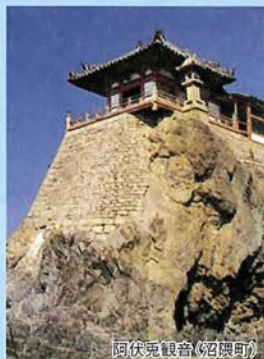


中右瑛 シェリト・リンド 1990
油彩・カンヴァス 130.0×194.0

小さな旅 瀬戸内、しまなみ海道を行く



しまなみ大橋



阿伏見観音(沼隈町)

おだやかな気候、美しい光景に育まれてきた瀬戸内の島々。歴史に彩られ、文化が薫る。1999年に開通した「しまなみ海道」によって、これらの点が線で結ばれ、利用者にとってより身近なものとなった。尾道から瀬戸内の島々へ。小さな旅は、大きな魅力に満ちあふれていた。



千光寺公園が尾道の港を望む

千光寺公園・招き猫美術館

(尾道市)

海からの風、石畳の坂道が代名詞になっている尾道。

千光寺公園からは、海に開かれた街の様子を一望できる。尾道を愛した文学者の石碑を訪ねる「文学のこみち」は尾道の光景を楽しむながら散策できる。最近では、民家を改築してアトリエにする作家たちも多く、「招き猫美術館」もその一つ。全国から集められた招き猫のコレクションは圧巻。

開館時間／11時～17時(平日)、10時～17時(土曜・祝) 休館日／木曜 入館料／100円 ☎0848-12512201

向島洋らんセンター(向島町)

向島町の洋らん栽培は、昭和40年代前半にミカン栽培に変わって始まり、今では向島町の代表的な農産物にまで成長した。センターでは、新品種の開発から販売まで行っており、全国からランの愛好家が訪れる。

開館時間／9時～17時(休館日／火曜祝日の場合は翌日) 入館料／400円(大人)、200円(小中学生) ☎0848-1441808

水軍城(因島町)

南北朝から戦国時代を通じて、瀬戸内の島々に要衝や砦を築いた村上水軍。中でも因島村上水軍は、大きな勢力を誇り、海の大名として隆盛を極めた。資料館には、村上家に伝わるほたて貝形の兜や古文書などが数多く展示されている。麓にある金蓮寺は、村上水軍歴代の菩提寺となっている。

開館時間／9時30分～17時 休館日／木曜 料金／310円(大人)、150円(小人) ☎084521410636

耕三寺(瀬戸田町)

昭和2年に、耕三和尚が開山。和上の御母堂逝去にともない僧籍に入り、その菩提追悼のため建立した。日光陽明門などの日本を代表する仏教建築を再現した堂塔の数々は、模倣の域を超え、独自の世界を創作している。

開館時間／9時～17時 休館日／年中無休 料金／1200円(一般)、700円(高校生 ※中学生以下は無料) ☎084521710800 <http://www.kousanj.or.jp>



招き猫美術館(尾道市)



向島洋らんセンター(向島町)



水軍城(因島町)



風の浦(富士市)



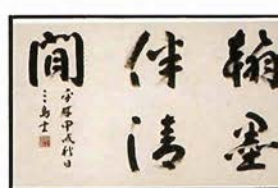
平山郁夫美術館(瀬戸田町)



平山郁夫美術館(瀬戸田町)



多々羅温泉「しまなみの湯」(上浦町)



村上三島記念館(上浦町)



大山祇神社
(大三島町)



みろくの里(福山町)

平山郁夫美術館(瀬戸田町)

日本画家の巨匠・平山郁夫氏が瀬戸田町の出身であることから平成9年に開館。

展示室から廊下に至るまで、すべてギャラリーになっており、氏自ら「原点は瀬戸内の風景」と語る。幼少の頃の作品から代表作まで多く公開している。

開館時間／9時～17時 入館は16時30分
休館日／臨時休館日以外は無休
料金／7000円(総、4000円(高大学生) 2000円(小中学生 ※団体割引あり) 05652713800
http://www.hirayamamuseum.jp/

多々羅温泉「しまなみの湯」

(上浦町)

地下1000メートルから湧き出る天然温泉。泉質はラドン塩化物冷鉱泉で、神経痛、関節痛、消化器病

など多くの効能がある。「しまなみの湯」には、連日多くの湯治客が訪れる。

営業時間／10時～20時 休館日／火曜 入館料／3000円(大人) 1500円(小中学生) 05897187141

村上三島記念館(上浦町)

上浦町が生んだ書家・村上三島の書の世界を余すところなく紹介。現在では総作品数約3500点(三島の作品は約700点)と他に類を見ない所蔵を誇る。

開館時間／9時～17時 休館日／月曜(12月30日、1月1日) 料金／5000円(大人) 4000円(小中学生) 2500円(小人) 05897187142

大山祇神社(大三島町)

源氏、北条氏、足利氏などの武将の尊崇を集めてきた大山祇神社。「日本総鎮守」とも呼ばれ、全国11000余の分社がある。

「国宝の島」の名があるように、所蔵品は、国宝8件、重要文化財は132件を数える。源頼朝、義経が奉納したと伝えられる鎧、刃のこぼれた刀剣などから戦時

の激しさを今に伝える。

営業時間／17時 休日／なし 入場料／無料 0589718210032

みろくの里(福山町)

210万平方メートルもの広大な広陵地に広がる「みろくの里」は、遊園地、美術館、温泉、宿泊施設がそろった総合レジャーランド。

昭和30年代の街並みを再現した「いつか来た道」の体感ゾーンは、有楽町のガード下の歓楽街などをみごとに再現。

入園料／800円(大人) 500円(小人) 0546680001
http://www.mirokunosato.com

阿伏菟観音(沼隈町)

約30メートルの岩頭に建つ観音堂は、自然と調和して見事な景観をつくり上げている。寺伝によれば、985年頃に本尊に十一面観音石像を祀り、航海の安全を祈願したのが始まりという。現在の観音堂は、元亀元年(1570)、毛利輝元が建立に尽力したと伝えられる。

瀬の浦(福山市)

日本で最初に国立公園として指定された瀬戸内海を代表する景勝地。ちょうど瀬戸内海の中央にあたり、潮の流れが変わるところから、潮待ち、風待ちの港として交易の港町として栄えた。万葉集をはじめ、多くの歌人が歌を残した。福禪寺「對潮楼」から臨む瀬戸の海に浮かぶ島々は、一幅の絵画に例えられる。また、瀬の浦の名産として知られる不老長寿の薬味酒「保命酒」の醸造元も昔ながらの佇まいを残している。



■ 和のインタビュー
華道の伝統と今を語る
肥原碩甫 (未生流家元)

**震災10年の神戸
災害に強いまち並は魅力に
欠ける。なんでやろ…。**



未生流家元の肥原碩甫氏は、神戸大学出身、繊維会社にも籍を置いた。脱サラの後未生流の後継者として華道家に。今、財団法人いけばな芸術協会理事長というトップランナーだ。そして、兵庫県いけばな協会の会長でもあり、華道界の伝統と現代、そして未来をみするオピニオンリーダーでもある。震災10年目の神戸の現況も率直に語っていただいた。

★神仏へ供える花、独楽の花

―先日、生田神社のイベントでの献花式を拝見させて頂きましたが、あのようなかたちがいけばなのルーツ的なものなのでしょうか。

肥原 神や仏に供えることはいけばなのルーツといえはルーツだと思えます。未生流の初代・未生斎一甫の『本朝挿花百練』及び七巻の伝書に書いてあるのですが、いけばなを挿ける場面は“独楽”という一人で楽しんでいけるものがある。それから会席、これは展覧会のような場面での花。それから賓客供応の花、また人の前でいける過程を見て貰う花手前があります。流派の決めごとにとれば、神仏に供えてもいいとあります。“独楽”が一番、決めごとがゆるいわけですね、自分が楽しめばいいだけですからね。対して神仏に供えるのは、土の濁りを去り清浄にして供えるという書き方をしています。作

法としては普段とかわりはないですけどね。

未生流の場合、草木と花という言葉を区別して使います。草木というのは、挿ける前の状態。そこから土の濁りをとって、流儀の規則にのっとって挿けてはじめて花になる。ハサミや水も花。いける姿も花となるべきであるとも書いていますね。初代は江戸後期の人なのですが、未生流はいけばな流派としては後発。だからそれまでの良いとこどりをしたみたいなどころがあつて、理論もしっかりしているんです。未生流の様式は立花などよりずっと後のもので、公家とか武家など上流階級の世界のものだった花が、一般化していく過程で生まれたものです。

―日本の家にはいけばなを飾る床の間があつて、もともと賓客を迎える造り。日本人は格式を重んじるというか、そういうのが好きですね。

肥原 そうですね。床の間の由来には、賓客が座る

上段の間が変化したという説もありますからね。それがだんだん観賞の場になっていったようです。だから、床の間が書院作り以降、成立していったことと、いけばなが広まっていった過程は関係があったと思いますね。

★いけばなは日本人の美意識

いけばなには新しいものもありますが、古いものももちろんすばらしい。今後は、どうなっていくとお考えですか。

肥原 いけばなは古い様式のものも全部を継承しているところが特徴だと思います。さまざまなタイプのものが重層的に発表されているんです。西洋美術の世界では前の様式をうち破って新しい様式が出るようなところがあるでしょう。だけど、いけばなの場合、新しく出来たものも残っていく。伝統的なものと新しいもの、両方をうまくかみあわせていくべきですね。

いけばなは各流派の個性がすごいですよね。

肥原 かつて『型と形』というテーマで展覧会やったことがあるんですよ。各流派、型をもっているわけです。それで型というのは、草木でも同じ形はふたつとない。それを型に当てはめて新しい形に花にするのですが、同じ流派でも人が違えば全く違う花になる。そこが面白いと思います。日本の文化には、武道でも何でも型があるものが多いですね。型自体がごちごちに固まってしまいうのも問題あると思うけれど、日本の様式・型の中には左右不均衡の均衡がある。非対称の中のバランスに日本に美意識があると思うんです。

★伝統文化を暮らしに

次世代に・・・

生田神社でも神戸大丸でも感じましたが、お花もあれだけの人が集まるというのは、やっぱり日本人に愛されているんだなと思いました。

肥原 僕らはね、最終的に花をいけてもらいたい。しかもね、男にもっとやってもらいたいと思ってる。明治時代にいけばなが花嫁修業のひとつみたになって以来、女性のたしなみとして捉えられているけれど、もともと男の文化でしたし、男が半分いるんやから。(笑) 日本のお家庭には大体いつも花があったのが、それが今危機やと言われているわけだから、お父さんとお母さんも娘も息子もやってもらわないと。日本では行事や節句という生活のけじめみたいな時には必ず花が登場してきた。正月やったら若松をいけるとか。そしていけばなを通して季節の移り変わりを感じたり、生活のリズムをとったりしたのです。

若い人にもお花をいけてほしいですね。

肥原 そうですね。伝統文化活性化国民協会という財団法人が2年ほど前にできまして、文化庁の委嘱を受けて伝統文化子供教室というのを各地で開講。いけばなの各流派も教室を開講しています。協会でも、一日子供教室を開いたり、若い人への呼びかけを心がけています。

今年は震災復興10年目ですけど…。

肥原 僕は御影に住んでますけど、近所にもまだ、当時のままの場所もありますね。でも新しい街並みが僕はあんまり好きでもないんです。災害に強い街かもしれないですが、それがもうひとつ魅力的でない。なんでやろ。神戸の町なのか、どこの町なのかわからない感じがしますわ。古いものを残すのはお金もかかるし難しい。だから震災の後に、昔の木造のものをまたつくるといふよりも、新しい建材でということになっちゃうんでしょうけれど、神戸らしい個性のある街並みになってもいいと思っています。

震災後実感した家族のきずな、出会いを大切に

ゲスト／藤本統紀子さん（ジョン・ロバート・パワーズスクール神戸校校長）

杉之原良平

（ブライズアカデミー神戸 代表取締役）

出会いの場づくりを

のセッティングはむずかしいですよ。

杉之原 震災後、神戸では、結婚される方が増えましたが、これは震災によって、家族のきずながどれだけ大事かを実感した人が多かったのでしょうか。

藤本 10年たっても、心の傷や目には見えない傷が残っていますね。杉之原さんがこのお仕事を始められたきっかけは。

杉之原 私は以前、百貨店に勤めておりました。私の人生にも、震災が大きく影響しました。もともとブライダル事業にたずさわっておりましたが、震災後にブライズアカデミーとの出会いがあったのです。ブライズアカデミーは、大阪・京都に支社がありましたが、神戸にはなかったもので、神戸支社を立ち上げました。震災を機に、残った命を世の中のお役に立てたいと考えておりましたので、これだ、と思いましたね。何か運命的なものを感じました。

身元のはっきりした方との出会い

杉之原 ブライズアカデミーへの入会にあたっては、まずご両親が先に、信用のできる会社かどうか見に来られる方が多いのです。ですから会員の皆さまはきちんとしたお家の方ばかりですよ。

ご成婚が決まった会員からのお礼状や写真を見ながら話す杉之原さんと藤本さん



藤本 世間一般のお見合いパーティというところ、なんだか女の子目当てに来る男性が多いとか。そんなことはないのですね。

杉之原 当社では、先に書類を提出していただきます。戸籍謄本・住民票・学歴証明、男性の方には源泉徴収票など。ですから身元がはっきりした方ばかりです。まず写真とプロフィールを見てご自分で選んでいただき、それから会っていただきます。年に2回、パーティを開きます。会員の男性と女性との比率は半々くらい、また、大阪支社・京都支社にはどんな会員様がおられるか、スタッフ全員が共通認識をもつために、月に1回ミーティングを重ねています。ただ写真を見せるだけでなく、こういう方ですというふうにご紹介しますので、決まりやすいのです。

ご自分に合うおしゃれや、メイク、ヘアスタイル、ファッションなどを学びますから、例えばこちらのご紹介写真を撮る前に、ぜひスクールに来られたら。本当に美しく生まれ変わるので、びっくりしますよ。結婚の決まった会員の皆さまに、ぜひお2人でマナーを学びに来られるようにお伝えください。

結婚・子育てをへて…

杉之原 藤本さんは、ご主人（作家・藤本義一さん）とは恋愛結婚ですか。

藤本 ええ、学生のときに。もう50年近くになりますからね。

杉之原 山あり、谷ありでしたか。

藤本 そうでもなかったですね。生活の苦しさなどはありませんが、夫婦の間の苦労はあまりなかったような。

杉之原 私はね、人として次の世代に生をつないでいくということは、自然なことですから、義務だと思っています。

藤本 ウチの主人は「お前はアホか」って私に向かつて言うんです。一種の愛

情表現だと本人は言うんですが、今の若い女性には、こんな愛情表現は通用しないみたい。本気で怒り出すみたいです。

杉之原 やはり男性にはもつとしっかりしてほしいなあ。現在、30代の男性の約半数が独身だそうですね。結婚しない方が増えることは、少子化につながりますから、これは問題ですよ。藤本 やはり人の勢いは国の勢いですから、人が減ると街に勢いがなくなってしまうですね。

杉之原 今、私どものような企業に、経済産業省がマル適マークをつけることを検討しているようです。

いろいろな会社がありますから、きちんと審査して優良な企業にはマークを。これは、国の方も少子化対策の一環として、私どものような企業が重要だと認識し

●ブライズアカデミー対談 第1回／相馬達雄さん（弁護士）



ブライズアカデミー
は由緒長いところ
のゆえにある
ところ
相馬達雄

第2回／亀井一成さん （元王子動物園飼育技師）



始めたということでしょうね。

結婚の出会いのお手伝い



あなたに近い幸せに

ブライズアカデミー

■神戸支社
神戸市中央区海岸通5番地商船三井ビル2F
TEL078-392-3741
営業時間 AM10:00～PM6:00
定休日 火曜日 水曜日
URL <http://www.bridskobe.com>
E-mail kobe@brids-academy.com